

令和6年度大垣市環境審議会第1回会議 会議録

1 と き 令和6年10月25日（金）14:00～15:30

2 ところ 大垣市役所4階 情報会議室

3 議 題

(1) 令和5年度環境分野の個別計画の実績報告について

- ① 大垣市エコ水都環境プラン実績報告2023について
- ② 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2023について
- ③ 大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2023について
- ④ 大垣市第2次生活排水対策推進計画（大垣地域編）実績報告2023について
- ⑤ 大垣市第2次生活排水対策推進計画（上石津地域編）実績報告2023について

(2) 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について

4 出席者（敬称略）

（委員） 10人

永瀬 久光	高木 良樹	伊藤 英宣	石丸 智之	澤藤 成人
豊田 充子	中村 佐和子	三輪 正直	堀 弘明	三島 真弓

（市事務局） 9人

生活環境部長	青井 明彦
生活環境部環境衛生課長	小川 哲司
生活環境部環境衛生課主幹	山田 芳弘
生活環境部環境衛生課主幹	森井 信悟
生活環境部環境衛生課主任	井桁 一憲
生活環境部環境衛生課主事	山口 雅也
生活環境部環境衛生課主事	市川 夏衣
生活環境部クリーンセンター所長	酒井 敏政
生活環境部クリーンセンター主幹	箕浦 弘二

5 欠席者（敬称略）

小林 信介 横井 香織 佐々木 和美

6 傍聴者

●● ●●

7 報道関係者

●● ●●

8 発言要約

発言者	発言内容
(1) 開会	
小 川 環境衛生課長	皆さん、こんにちは。 本日は、大変、お忙しいところ、令和6年度大垣市環境審議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。 私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市環境衛生課長の小川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 はじめに、本年度、委員さんの交代がございましたので、ご紹介させていただきます。 大垣市小中学校校長会教科顧問で、安井小学校長の伊藤委員さんと大垣市連合自治会連絡協議会副会長の高木委員さんです。 どうぞよろしくお願いいたします。 なお、本日は、小林委員、横井委員、佐々木委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、出席委員が過半数に達しておりますので、大垣市環境審議会規則第3条3項の規定により、本審議会が成立していることをご報告いたします。 それでは、開催に先立ちまして永瀬会長さんより、ごあいさつをお願いいたします。
(2) あいさつ	
永瀬会長	皆さん、こんにちは。 会長を務めさせていただきます永瀬です。よろしくお願いいたします。 本日は、大変お忙しい中、大垣市環境審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。 また、日頃より、当審議会の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。 さて、当審議会は、平成19年7月に施行した大垣市環境基本条例に基づ

小 川 環境衛生課長	き、環境基本計画等を定める際の諮問機関として発足し、良好な環境の保全と持続的発展が可能な社会の創出に向けて、様々なご意見をいただいてまいりました。 本日の会議では、エコ水都環境プラン等、環境分野の個別計画の昨年度の実績報告をしていただきます。 また、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について審議してまいります。 本日の審議会が有益なものとなりますよう、委員の皆様のご理解、ご協力をお願い申しあげ、ごあいさつとさせていただきます。 本日は、よろしくお願いいたします。 ありがとうございました。 それでは、議事に入りたいと存じます。 ここからは、永瀬会長さんに進行をお願いいたします。
(3) 傍聴者の入室の可否	
永瀬会長	それでは、議事を進行させていただきます。 円滑な進行につきまして、ご協力をよろしくお願いいたします。 本日の会議につきましては、個人情報に関する事項がないため、公開とさせていただきます。 なお、本日の会議には、●●の●●記者、●●の●●記者が、お入りいただいておりますので、ご報告させていただきます。 それでは、傍聴者の確認をいたします。 大垣市環境審議会規則第4条の規定により●●の●●さんほか1名の方からの傍聴の申し出がありました。 傍聴を認めることに賛成の方は挙手をお願いいたします。 （全員賛成により入室許可） 次に、本日の会議録署名者についてですが、伊藤英宣委員と豊田充子委員に、お願いしたいと存じます。
(4) 副会長の選任	
永瀬会長	続きまして、副会長の選任に移りたいと思います。 副会長の後藤様が組織の改変により退任されたため、副会長が欠員となっております。

	審議会規則第2条第1項の規定により、副会長は委員の互選により定めることとなっておりますので、いかが取り計ればよろしいか、お諮りしたいと思います。
澤 藤 委 員	会長に一任してはいかがでしょうか
その他委員	異議なし
永 瀬 会 長	異議なしとのお声をいただきました。 それでは、私から指名させていただきたいと思います。 副会長には高木良樹委員にお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。
その他委員	異議なし
永 瀬 会 長	それでは、副会長には高木良樹委員にお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。 高木副会長におかれましては、席の移動をお願いいたします。 (席移動)
(5) 議 題	
永 瀬 会 長	それでは、議事に移らせていただきます。 議題の(1)「令和5年度環境分野の個別計画の実績報告について」、事務局から一括して説明をお願いいたします。
森 井 主 幹	環境衛生課の森井でございます。よろしく願いいたします。 報告は、お手元の次第資料の各計画「実績報告の概要」にてご説明させていただきます。 また、別添資料としてお配りしております、カラー表紙の各計画の「実績報告書」には、詳細な実施状況等を記載しておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。 それでは、次第資料の1ページ、資料No.1「大垣市エコ水都環境プラン実績報告2023の概要について」をお願いいたします。計画の概要でございますが、趣旨につきまして、大垣市では、「環境基本計画」を「エコ水都環

境プラン」と呼称し、「大垣市未来ビジョン基本構想の施策のひとつである「みんなが安心してまちづくり」の実現を目指して、本市の環境施策の総合的かつ計画的な推進を図るものでございます。

期間は平成30年度から令和9年度までの10年間で、望ましい環境像を「ハリンコが泳ぎ、ホテルが舞う水都・大垣」とし、「暮らしを変えて、未来に夢を」を合言葉に、展開する目標や推進施策を示しております。

この計画には、1ページから4ページにございますように、5つの基本目標があります。また、それぞれに個別目標指標、26指標を設定しております。

また、4、5ページにございますように、5つの基本目標を推進するための施策、26施策があり、この施策に即した市の事業、129事業を展開しております。

資料の6ページにまいりまして、評価は計画の施策及び事業について、PDCAを活用したマネジメントシステムに基づき、継続的な見直しや改善に取り組むため、毎年、実施状況の評価するとともに、進行管理を行いました。

実績報告させていただきます、各計画ともに、評価の方法を統一し、表の左側「施策評価」につきましましては、個別の指標につきまして、令和5年度の実績値を進捗目標値と比較し、その達成度の割合に応じてA～Eの5段階で評価しております。

また、表の右側「事業評価」につきましましては、基本目標を推進するための施策に即した市各部局の事業につきまして、令和5年度の事業の実施状況に応じ、実施した「A」から未実施「D」までの4段階で評価しております。

7～10ページが、施策評価の結果でございます。

5つの基本目標に基づく26の個別指標につきまして、基準値に対し、令和5年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

令和5年度の評価は、A評価が18項目、B評価が6項目、D評価が1項目、E評価が1項目でございました。

実績評価の悪かったものについては、8ページの「低炭素化」におけるNo.1「公共施設の温室効果ガス排出量」がE評価となっています。

これにつきましては、次の大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告にてご説明させていただきます。

次に、10ページの基本目標5「協働・連携」におけるNo.1「環境学習会・

出前講座開催数」がD評価となっています。

コロナ禍が明けまして、昨年度より開催数が100回程度増加しておりますが、目標が非常に高く設定されておりますので、達成には至っていないものです。

次に、10ページの事業評価につきましては、129事業のすべてがA評価となっています。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.1、オレンジ色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、望ましい環境像の実現に向け、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市エコ水都環境プラン実績報告2023についての説明でございます。

続きまして、次第資料の13ページ、資料No.2「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2023の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市役所自らが事業者・消費者の立場から、環境保全に向けた行動を率先して実施し、環境負荷の低減を図るとともに、市民、事業者の行う地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進するものです。

期間は令和3年度から令和7年度までの5年間でございます。

計画の基本目標として、表にございますように、市が行う事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を二酸化炭素量に換算し、排出削減率を目標数値として示しております。

14ページにまいりまして、市の行う事務事業から発生する温室効果ガスの削減を図る ために、6つの推進施策を設定し、22の推進項目に取り組むこととしております。

15ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況の評価するとともに、進捗管理を行いました。

16ページが施策評価の結果でございます。令和元年度の基準値に対し、令和5年度の進捗目標値、実績値、達成度評価を示しております。

令和4年度は、先ほどエコ水都環境プランの実績評価でもお示しましたが、各施設では、13.5%の削減でE評価、浄化センターは14.75%削

減、となり、A評価、市民病院は0.16%の削減でB評価。協働分は17%削減のA評価でした。

各施設の評価が良くなかったのは、昨年度は、30度を超える真夏日が92日と、猛暑が続いたため、各施設において、空調の使用期間および使用時間が増加したこと等によるものです。

公共施設における温室効果ガス排出量の削減に関する取組として、再生可能エネルギー電力を導入することを進めており、本年度につきましては、市の3つの斎場と3つの大気環境測定局にて導入しております。年間約37万kWhになります。

再生可能エネルギー電力の導入については、市有施設の電力については、令和7年度までに使用電力の30%を再生可能エネルギー電力とし、令和12年度までに再生可能エネルギー100%導入を図ります。

また、昨年度、公共施設等における太陽光発電設備導入の可能性を調査し、現地調査等から、太陽光発電設備を設置する優先順位の高い施設を抽出しております。

今年度は、その調査結果を踏まえ、導入効果の高い施設等に対して、設置費用や維持管理の負担がかからない、「PPA方式（電力販売契約）」での太陽光発電設備導入に向け、プロポーザルによる契約を進めており、これらにより、温室効果ガス排出量の削減を目指していきます。

次に、17ページの事業評価につきましては、34事業すべてがA評価となっています。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.2、水色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、温室効果ガスの排出削減に向け、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2023についての説明でございます。

続きまして、次第資料の19ページ、資料No.3「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2023の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、先ほどの「事務事業編」は、市役所自らが事業者・消費者の立場として、地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進することを目的としていますが、この計画は、市をはじめ、

	市民や事業所等との協働により、温室効果ガス削減を全市的に推進するものでございます。 期間は平成29年度から令和32年度までの34年間で、市域の温室効果ガス排出量削減目標として、令和12年度までに基準年度である平成25年度比46%削減、令和32年度までに実質排出量ゼロを掲げています。 市域の温室効果ガス排出量の実績につきましては、環境省が提供している「自治体排出量カルテ」のデータを使用しているため、最新データで、令和3年度の実績となりますが、基準年度比16.2%削減であり、国の16.9%削減、岐阜県の17.9%削減と同程度の状況です。 基本方針には、5つの施策分野があり、20、21ページにございますように、それぞれに、個別目標指標、15指標を設けています。 また、21、22ページにございますように、5つの施策分野を推進するための施策、20施策があり、この施策に即した市の事業、47事業を展開しております。 23ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進捗管理を行いました。 24～26ページが、施策評価の結果でございます。 5つの施策分野に基づく15の目標指標につきまして、基準値と令和5年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。 令和5年度の評価は、A評価が5施策、B評価が9施策、C評価が1施策でした。 実績評価の悪かったものについては、24ページの施策分野1「再生可能エネルギーの利用促進」におけるNo.3「再生可能エネルギー導入量」が、C評価となっています。 再生可能エネルギー設備の導入につきましては、平成16年度より、スマートライフ設備設置事業補助金を設け、新エネルギー、省エネルギー機器の導入に対し、設置費用の一部を補助してきましたが、さらに、令和4年度からは、岐阜県と協力し、市民や事業者の皆さんの太陽光発電設備の導入に対する、新たな補助制度を設け、設備の推進を図っているところです。 また、先ほど、事務事業編の実績で報告させていただきましたように、今年度は、公共施設への太陽光発電設備の導入に向け、「PPA方式（電力販売契約）」でのプロポーザルによる契約を進めているところです。
--	--

	次に、事業評価につきましては、47事業のすべてが実施済みでA評価となっています。 各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.3、黄緑色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。 引き続き、市域の温室効果ガス排出量削減に向け、適切な事業実施に努めてまいります。 以上が、大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2023についての説明でございます。
山 田 主 幹	環境衛生課の山田でございます。よろしくお願いいたします。 それでは、資料27ページ、資料No.4の「大垣市第2次生活排水対策推進計画（大垣地域編）実績報告2023の概要について」をお願いいたします。 計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。 計画期間は平成27年度から令和16年度までの20年間で、基本理念は「水の潤いのあふれるまち」でございます。 基本方針は、2つで、①健全な水循環の促進と、②水文化を守る環境にやさしい暮らし方の促進、でございます。 基本目標は、2つで、①生活排水処理率100%と、②水門川及び杭瀬川における水質環境基準の維持達成とするものでございます。 なお、目標指標にある水質環境基準につきましては、令和4年4月から、環境基準の見直しにより大腸菌群数を削除し、新たに大腸菌数が追加となっております。 資料の28ページにまいりまして、推進施策は、5つで、①下水道の整備・接続の促進、②合併処理浄化槽への転換・普及促進、③家庭でできる生活排水対策の促進（ブルーリバー作戦の継続）④水環境に関する意識の高揚、⑤関連部局の調整・近隣市町との協力、でございます。 資料の29ページにまいりまして、評価につきましては、施策評価として2指標を、事業評価として8事業を、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。 資料の30ページにまいりまして、施策評価の結果につきましては、生活排水処理率がB評価、水質環境基準がA評価となっています。

資料の31ページにまいりまして、事業評価の結果につきましては、下水道への接続促進事業や合併処理浄化槽への設置整備補助金事業など、8の事業に対して、すべて実施しておりA評価となっております。

引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。

なお、詳細な実施報告書は、黄色の表紙、別添資料No.4にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。

以上が、大垣市第2次生活排水対策推進計画、大垣地域編、実績報告2023についての説明でございます。

それでは、資料33ページ、資料No.5の「大垣市第2次生活排水対策推進計画（上石津地域編）実績報告2023の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。

計画期間は、令和3年度から令和22年度までの20年間で、基本理念は「自然とともにいきる快適なまち」でございます。

基本方針は、2つで、①健全な水循環の促進と、②水文化を守る環境にやさしい暮らし方の促進、でございます。

基本目標は、2つで、①生活排水処理率100%と、②牧田川における水質環境基準AA類型の維持でございます。

こちらの環境基準についても見直しが行われております。

資料の34ページにまいりまして、推進施策は、6つで、①生活排水処理施設の適正管理、②合併処理浄化槽への転換・普及促進、③家庭でできる生活排水対策の促進（ブルーリバー作戦の継続）、④水環境に関する意識の高揚、⑤その他水質改善策の推進、⑥関連部局の調整・近隣市町との協力、でございます。

資料の35ページにまいりまして、評価につきましては、施策評価として2指標を、事業評価として8事業を、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。

資料の36ページにまいりまして、施策評価の結果につきましては、2つの施策ともA評価となっております。

なお、牧田川の大腸菌数が基準を超過しておりますが、これは自然由来の大腸菌が影響していると考えられ、引き続き、目標としている牧田川の

	AA類型を維持しております。 資料の37ページにまいりまして、事業評価の結果につきましては、生活排水処理施設の適正管理や合併処理浄化槽への設置整備補助金事業など、8の事業に対して、すべて実施しておりA評価となっております。 引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。 なお、詳細な実施報告書は、灰色の表紙、別添資料No.5にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。 以上が、大垣市第2次生活排水対策推進計画、上石津地域編、実績報告2023についての説明でございます。
永瀬会長	ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
堀委員	次第冊子のP10とP26の講座等の回数の評価結果が異なるのは何故ですか。
森井主幹	それぞれの計画策定年度が異なるため、目標値が異なっているものです。今後、計画改定の際に調整するよう検討します。
永瀬会長	次第冊子のP16の協働分とは何の事を示すのですか。
森井主幹	協働分は、一般廃棄物に含まれる、廃プラスチックや合成繊維をクリーンセンターで焼却することによって発生する二酸化炭素や浄化センターで下水を処理する際に発生するメタンなどの温室効果ガスの排出量のことです。これは、市民の皆さまとの連携や協働によって減少することができるものであることから、別に、協働分として目標を掲げているものです。
永瀬会長	次第冊子のP24の再生可能エネルギー導入量について、県の補助金を活用し、太陽光発電設備の補助を実施しているとのことですが、補助額は十分ありますか。
森井主幹	太陽光発電設備及び蓄電池について、県の補助金を活用し、令和4年度から補助を実施しています。年々、補助件数も増加しており、本年度は、補助額の上限に達する勢いです。申請件数がさらに多くなるようであれば、県と協議させていただく予定です。
中村委員	次第冊子のP25の循環型社会の推進について、大垣市環境市民会議ではダンボールコンポストの補助事業を行っています。令和3年度には約1,000件の申請がありましたが、市の補助制度変更によって件数が減少してしまいました。今年度は、市の補助制度も拡充していただきましたが、今後と

	も継続してほしい。また、他市町村では家庭で出た生ごみを行政が回収し、処理している所もあるので、大垣市でも検討して欲しい。
箕 浦 主 幹	循環型社会の推進に向け、ダンボールコンポストの補助については、継続できるよう考えていきます。行政による生ごみ回収に関しては、今後の情勢を確認しながら研究していきます。
石 丸 委 員	次第冊子のP25の自主運行バスとはどこのバスを示していますか。
森 井 主 幹	名阪近鉄バス等、市内で運行しているバスです。
石 丸 委 員	次第冊子のP26のホームページアクセス数に関して、受け身だけではなく、SNS等による市からの積極的な発信も検討いただきたい。
森 井 主 幹	環境情報の効果的な発信について、検討していきます。
永 瀬 会 長	次第冊子のP30とP36の生活排水処理率は、大垣地域と上石津地域で似たような状況であるが、評価結果が異なるのは何故でしょうか。
小 川 環境衛生課長	どちらの計画も20年後の最終目標を100%としています。策定年度がそれぞれ違います。策定年度が早いと目標が最終目標年度に近くなりますので目標が高くなり達成率が悪く、策定年度が最近ですと、目標が最終目標年度よりも基準年度に近く、達成率がよくなるということがあります。目標については、計画改定の際に見直させていただきますのでよろしくお願いします。
永 瀬 会 長	その他、ご意見、ご質問などございませんか。 それでは、他に、ご発言もないようですので、議題(1)につきましては、以上とさせていただきます。続きまして、議題の(2)「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について」、事務局から説明をお願いいたします。
森 井 主 幹	それでは、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画、事務事業編の変更について、ご説明させていただきます。 次第資料の39ページ、資料No.6をご覧ください。 地球温暖化対策につきましては、地球温暖化対策の推進に関する法律により、市町村は、自らの事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画を策定することとされております。 本市では、平成18年に、大垣市地球温暖化対策実行計画、事務事業編を策定し、令和4年3月には第4次計画の一部変更を行い、環境に配慮した自

	主的な取り組みを実施しております。 また、本市では、市有の施設及び遊休地における再生可能エネルギー設備の導入を進めるため、令和4年度に「大垣市再エネ設備導入ポテンシャル等調査」を実施しました。この調査結果を計画に反映させるため、計画の変更を行うものです。 変更内容につきましては、別添資料No.6、薄い緑色の「計画変更素案」にてご説明させていただきます。また、次第資料の40ページは、計画変更素案の新旧対照表になりますので、併せてご覧ください。 それでは、別添資料No.6の計画変更素案37ページをご覧ください。変更した箇所は朱書きしております。 温室効果ガスの排出削減のための具体的な取り組み推進策として、①に「新エネルギー設備の導入」をあげております。 これまでは、「新エネルギーを、補助制度を活用しながら率先して設置する」ものとしておりましたが、調査結果を踏まえ、「なお、太陽光発電設備の導入については、自己所有方式だけでなく、民間活力を活用したP P A方式での導入を進め、2030年度（令和12年度）までには設置可能な市施設等の50%へ導入、2040年度（令和22年度）までには100%導入を目指します。」と、具体的な導入手法と目標を位置付けております。 なお、計画の実績報告の際にもご説明させていただきましたが、現在、太陽光発電設備の導入効果の高い施設等に対して、P P A方式での設備導入に向け、プロポーザルによる契約を進めているところでございます。 計画変更に関する説明は以上でございます。
永瀬会長	ただいま、変更素案のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 それでは、意見、異議がないようですので議題(2)につきましては、以上とさせていただきます。
(6) その他	
永瀬会長	次に、次第の5、「その他」でございますが、事務局から報告事項があるとのことですので、お願いします。
森井主幹	それでは、事務局から1点、ゼロカーボンシティおおがきの実現に向けた新たな取り組みといたしまして、「J-クレジットの創出」について、報告させていただきます。 お手元の「その他資料」をご覧くださいと存じます。

	ゼロカーボンに向け、徹底的な省エネや再エネ導入を進めても、どうしてもゼロにできない部分を補完するものとして、環境価値があります。 J-クレジットは、省エネルギー機器の導入や森林経営等の取組による、温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する環境価値になります。 大垣市は、この9月に、大垣共立銀行と株式会社バイウィルの3者で「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結し、公共施設におけるLED化などの省エネ活動の取組からJ-クレジットを創出し、カーボン・オフセットを求める市内の事業者等に活用していただくことで、環境価値を地産地消する取り組みを始めました。 これにより、今後、地域の事業者の皆さまと共にゼロカーボンシティおがきの実現に向けた取組を推進していきます。 資料の裏面には、市のホームページにも掲載しております、協定締結式の様子を載せさせていただきました。 報告は以上です。
永瀬会長	事務局から「J-クレジットの創出について」ご報告ありましたが、これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
石丸委員	これは、大垣市役所だけの事業か、大垣市域全体の事業でしょうか。
森井主幹	今回は、市の公共施設における省エネ活動の取組に関することから、J-クレジットを創出するものです。 J-クレジットについては、水田の中干期間を延長することによる温室効果ガスの発生抑制等、様々な手法がありますので、今後の展開も考えられます。
永瀬会長	その他、全体を通じて何かございましたら、ご発言をお願いいたします。 その他、特に、ご発言もないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。 それでは、事務局にお返しいたします。
(7) 閉会	
小川 環境衛生課長	ありがとうございました。 これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。 本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。